としょかんつうしん
図書館通信

令和　４年　６月
石川県立盲学校図書室

図書委員会　調査！
「新任の先生のおすすめの本」

図書委員が、４月から盲学校に来てくださった先生方に、「おすすめの本」を聞きました。
ぜひ、読んでみてくださいね。

☆おすすめの本☆

『　星の王子さま　』

小学校のころ買ってもらった本を今でも大切にしています。ｻﾝ=ﾃｸﾞｼﾞｭﾍﾟﾘの世界観がとっても好きです。ﾌﾗﾝｽ語の原文、英語訳も読みました。「心で見なくちゃ、ものごとは、よく見えないってことさ。かんじんなことは、目に見えないんだよ」は、名言です。

☆おすすめの本☆

『大家（おおや）さんと僕（ぼく）』

読むと、ほっこりできる本。「大家さん」と「僕」との関係が、とても素敵です。

☆おすすめの本☆

「鏡（かがみ）の中（なか）のぼく」

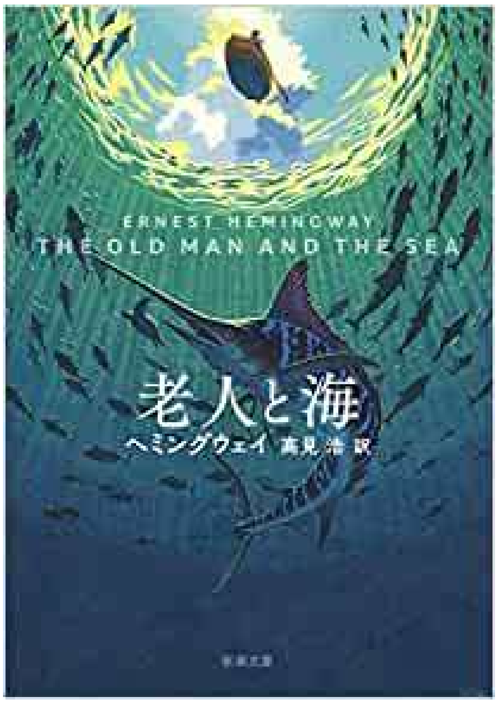
絵本なのですが、読む時の心の状態で、とらえ方が変わる不思議な本だと思います。

☆おすすめの本☆

『たのしい　ムーミン一家（いっか）』

ムーミンの世界観が、とても好きで、ムーミン愛が止まりません。

☆おすすめの本☆



『老人（ろうじん）と海（うみ）』

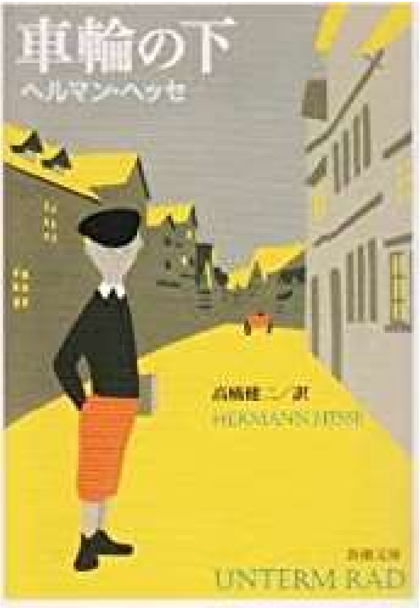
いつかアメリカに行ってみたいと思った中学生の時、この本に出会った。老漁師が巨大カジキを死闘の末釣り上げたが、サメにおそわれ必死に抵抗しながら港に着くころにはカジキは骨だけになってしまっていた。私自身、年齢を重ねつつある今、なぜか親近感をおぼえ、大切なことを教えてくれる一冊だ。

☆おすすめの本☆

『十五少年漂流記（じゅうごしょうねんひょうりゅうき）』

小学生のころに、図書室で初めて借りた本で、少年達の成長していく姿にハラハラドキドキする冒険物語が印象的です。

☆おすすめの本☆



『車輪(しゃりん)の下(した)』

　ノーベル文学賞を受賞した作者の自伝的小説で、人間の精神の幸福を問う哲学的内容となっており、古典的な西洋文学作品の一冊としておすすめです。

☆おすすめの本☆

『はてしない物語(ものがたり)』

　映画『ﾈﾊﾞｰｴﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ・ｽﾄｰﾘｰ』の原作になったﾌｧﾝﾀｼﾞｰ小説です。本の装丁にひかれて手に取ったのですが、ﾌｧﾝﾀｼﾞｰなのに、その世界が頭に浮かび、最後まで楽しく読めたのを覚えています。

☆おすすめの本☆

『指輪物語（ゆびわものがたり）』

ﾌｧﾝﾀｼﾞｰの王道的作品です。映画化もされているので、そちらが特にオススメです。

☆おすすめの本☆

『いいから いいから』ｼﾘｰｽﾞ

怒ってはいけない。だれかが怒ると、だれかに伝染してまた怒る。それがまた、だれかに伝染して、何もいいことがない。世界を平和にする本だからです。☺

☆おすすめの本☆

『宇宙兄弟（うちゅうきょうだい）』

主人公 南波六太の、逆境に立ち向かう姿がカッコいいです。おすすめのマンガです。

☆おすすめの本☆

『風が強く吹いている』

「箱根駅伝を走りたい！十人の個性あふれるメンバーが、走ることに夢中で突き進む。自分の限界に挑戦しながら、次第に仲間と繋がっていく。」読み進めるうちに気持ちが熱くなり感動を覚えます。

☆おすすめの本☆

『日本の歴史』

（角川まんが学習シリーズ）

小学生の息子が社会（歴史）に興味がなかったので、ﾏﾝｶﾞなら興味を持ってくれるかなと思い選んでみました。私自身も小学生の頃は歴史が苦手でしたが、今このﾏﾝｶﾞを読んでみるとなかなか面白い。息子もこれを読んでからは、自分から歴史系のﾌﾟﾘﾝﾄを解くようになりました。

＊＊＊

☆７月生まれの作家と作品☆

★　上橋　菜穂子（うえはし　なほこ）

（1962年7月15日　東京都生まれ）
「守り人ｼﾘｰｽﾞ」、「獣の奏者」、「鹿の王」など、ﾍﾞｽﾄｾﾗｰのﾌｧﾝﾀｼﾞｰ作品がたくさんあります。

図書室にあります！　ぜひ読んでみましょう。

＊＊＊＊＊　７月　おすすめの本　＊＊＊＊＊

『障害のある子が「親なき後」も幸せに暮らせる本』

鹿内幸四朗

ぜひ、お読みください！

当事者ではない私がこの本に出合ったのは、生徒の母親から図書室への返却依頼でした。

タイトルに惹かれ読んでみました。そして、読み終わってから、この衝撃的な内容を母親としてどう受け止めているのかを聞いてみました。

『恐い!』『18 歳まで、あと 5 年しかない!』
と言われていました。

お母さんの言われたことを私なりに皆さんにお伝えすると、知らないままいろんな不利益を受けることになる恐さ、「後見人制度」のデメリット、「親心後見」がいかに子供の未来を暖かく見守ることができる制度なのか、を言われているのだと思います。

だから、『18 歳になるまでに準備をしていきたい!』と思われたのだと思います。また、障害者が中年世代となり、保護者が高齢者となる「8050 問題」を迎える恐さもあるのでしょう。

私は、保護者の『助けて!』を見たら、この本を差し出します。この本の重要な点を伝える＜理解者＞になれたと思っています。

興味を持たれた方は、お聞きください。

— 2019年、最高裁が『後見人は親族が望ましい』と提言していることを、最後にお伝えしておきます。—

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

☆毎月 23 日は、「いしかわ学校読書の日」です。

～ よい本との出会いがありますように ～